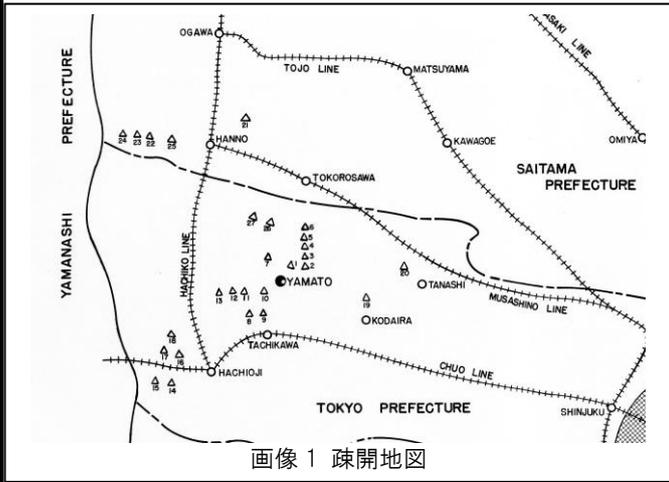




日立航空機株式会社立川発動機製作所の 疎開工場の存在を記した日誌

飯能市立博物館 学芸職員 波田 尚大

日立航空機株式会社立川発動機製作所(立川工場)は、現在の西武鉄道拝島線の東大和市駅から玉川上水駅間の広大な敷地で軍用機の発動機(エンジン)製作を行っていた軍需工場です。アジア・太平洋戦争下の昭和20(1945)年4月24日に米軍による空襲を受け、破壊されました。その後、同製作所は修復せずに疎開することを決定します。その疎開地の一つに、飯能の地が選ばれました。



画像1 疎開地図

終戦後の11月、アメリカ合衆国は同製作所に対する空襲によって、どの程度の損害を与えることができたのかを調査しています。その成果は「The United States Strategic Bombing Survey(米国戦略爆撃調査団報告)」としてまとめられており、疎開計画も記されています。疎開先・面積・疎開した日付・工作機械の台数・作業員数・作業内容及び疎開先の用途・疎開が完了した日付が記されており、精明・飯能第二・原市場・赤沢・南高麗の国民学校の校舎が選定されていたことがわかります(画像1)。

そこで、ご紹介する今月の一品が、昭和20(1945)年の「原市場村役場 日誌」(画像2、原市場村公民館文書No.972)です。この日誌には原市場村役場で業務上記された、様々な記事が掲載されています。6月10日の「外来者」の項目には、「軍需省軍需官陸軍技術少佐 中川謙一氏 来原 皇国第二六三三工場 小見山泰氏」とあります。「来原」は「来飯」のように、原市場村に来たことを指すものと思われます。また、同27日の「出張」の項目には、「町長飯能出張 工場疎開関係打合外」とあります。

当時、製作所所長補助兼企画部長を務めていた榊憲吉氏によると、工場の疎開についてなどの日常業務については企画副部長の小宮山泰氏に任せていたとあり、小見山泰=小宮山泰は表記に違いはあるものの、同一人物と見られます。つまり、これらの記事は原市場国民学校・赤沢国民学校へ、皇国第二六三三工場=日立航空機立川発動機製作所が工場疎開を行ったことについて記されているのです。

また、飯能第二小学校より当館に寄託されている飯能第二国民学校の同年度の日誌を確認すると、6月9日の「記事」に「軍需省軍需官中川少佐外数名来校」、同12日には「皇国第二六三三工場より本校舎貸受けに加藤徳市氏外数名来校」、同19日には「初四以上の非農家児童にて校舎転用による校具の整理整頓を行う」、終戦後の11月1日には「皇国二六三三工場整理課長吉岡裏氏来校」と記されています。校舎を疎開工場に転用するため、初等科の4-6年生が用具の整理を行っていたことや、恐らく様々な処理のために、終戦から約2カ月半後に同製作所から職員が来校していたことが記録されています。

なお、本記事の執筆にあたり、東大和市立郷土博物館の梶原 喜世子氏と瀧本 邦正氏に資料や情報の提供をいただきました。厚く御礼申し上げます。



画像2 原市場村役場日誌

表 飯能市域内で日立航空機株式会社立川発動機製作所の疎開工場となった国民学校

番号	疎開先(場所)	面積	疎開した日付	作機械の台数	作業員数	作業内容及び疎開先の用途	疎開が完了した日付
21	精明国民学校 (現・精明小学校)	56500 平方フィート	昭和20(1945)年5月	10台 組立治具	520人	組立仕上洗浄	昭和20(1945)年7月 (原文では昭和21年)
22	飯能第二国民学校 (現・飯能第二小学校)		昭和20(1945)年5月			オーバホール 調整	昭和20(1945)年8月
23	原市場国民学校 (現・原市場中学校)		昭和20(1945)年6月			部分組立	昭和20(1945)年8月
24	赤沢国民学校 (現・国際興業バス 「赤沢」停留所北西の住宅街)		昭和20(1945)年6月			工具室	昭和20(1945)年8月
25	南高麗国民学校 (現・南高麗小学校)		昭和20(1945)年6月			倉庫	昭和20(1945)年8月

※『太平洋戦争中の日立航空機株式会社』より作成。番号は「疎開地図」と対応。

【参考文献】The United States Strategic Bombing Survey 『Hitachi Aircraft Company, Corporation Report No. VII (airframes and engines)』 February.1974(国立国会図書館デジタルコレクション)/高草 孝夫編・榊 憲吉、高草 孝夫翻訳『太平洋戦争中の日立航空機株式会社』日立 鵬友会 平成2(1990)年11月(上記文献の英訳)/東大和市 東大和市史資料編1『軍需工場と基地と人びと』平成7(1995)3月